□には、リンクがあります。※は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名 グループホーム
夕 な ぎ の 家 ※

日付 平成17年1月20日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

■評価調査員 薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験８年、障害者、老人介護支援

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！） ※

外部評価の結果

講評 ■全体を通して（特に良いと思われる点など）

関連施設として診療所、特別養護老人ホーム、デイケアセンター、ケアハウスなどの複合施設がある。

敷地は広く、一寸した散歩には十分である。入居者が一人で外に出ても、関連施設の職員も入居者の顔を知っているので適切に対処できている。

また、施設全体で行う夏祭りは屋台なども出て、地域の住人も参加し楽しいイベントになっている。日曜日には、ケアハウスの喫茶店にもお出かけし、気分転換を図っている。

管理者が、交代してあまり時間が経っていないが、職員間の会話もスムーズに出来ており、「入居者に楽しい生活を送ってもらいたい」との思いは共有化され、意思統一が図られている。

■改善の余地があると思われる点

職員は、食事の準備や介護の作業に追われて見守りがあまり出来ていないようです。作業の内容、手順を見直し、段取り良く余裕を持って取組む必要があります。落ち着いた雰囲気の中での暮らし、閉じこもり防止の為の外出を大切にして頂きたいと思います。

Ⅰ 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	

記述項目 **■グループホームとしてめざしているものは何か**

「人としての尊厳を守ることとは、利用者の権利の尊重であり安全の確保である」との理念の下、「毎日笑って楽しい生活を送ってもらいたい」、「自分の役割が皆あるはず。その手助けをしたい」との思いを持ち、地域の人やボランティアを巻き込んでいくことをめざしている。

Ⅱ 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	

記述項目 **■入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か**

「だめ」、「いけない」の言葉を職員は使わないようにしている。「こうやれば」、「ああやれば」と会話の中で声かけをしている。

また、職員が外に出るときは、声かけをして一緒に歩き気分転換を図っている。

Ⅲ ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		○
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		○
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

Ⅲ ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		○
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持		○
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		○
30	家族の訪問支援	○	

記述項目 **■一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か**

毎日の食事の準備には入居者の経験が生かされている。準備、調理、味付けも職員は入居者と話しをしながら協力して行っている。

入居者に教えてもらいながら、押し寿司、お菓子作りもしている。部屋の掃除も、出来る人には協力してもらって行っている。

Ⅳ 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進		○
35	ホーム機能の地域への還元	○	

記述項目 **■サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。**

以前は申し送りに時間がかかり、無駄な時間が多かったが、ボードに記入し分かりやすくなったので時間短縮になった。

転倒した入居者の原因を考えたら、スリッパを履いたためと判明。リハビリ用の靴に変更すると解決した。

小さなことでも話し合いをして解決を図っている。